

熊本市金峰山におけるハチクマの雛の形態異常例

井上賢三郎¹・白石久善²・矢次智浩³

1. 日本野鳥の会 〒862-0947 熊本市画図町重富 11-4

2. 日本野鳥の会 〒861-4101 熊本市近見 2-1-30

3. 日本野鳥の会 〒862-0924 熊本市帯山 1-33-25

ハチクマ *Pernis apivorus* は春に九州以北に渡来して繁殖する夏鳥で、環境省レッドリスト（環境省 2006）で準絶滅危惧種に指定されている希少な猛禽類である。長野県では長年にわたり詳しく調査されてきたが、九州における繁殖の実態はまだあまりよくわかっておらず、情報の蓄積が必要といえる。熊本県では、1992 年に初めて旧球磨郡深田村の山林でハチクマの繁殖が確認されたが（井上ほか 2006）、それ以降も県内の数か所で繁殖が確認されている。

熊本市金峰山の繁殖地では、2009 年に左目の不自由な幼鳥の巣立ちが確認されたのでここに報告する。

調査地である金峰山山系は、中央火口丘である金峰山と、外輪山となる西の向山・北西の河内山・北の熊ノ岳・北東のおはぎ山などからなる。2006 年以降のハチクマの営巣林は西の標高 360m ほどの向山に位置している。営巣林を観察する為、営巣林とその周囲をよく見渡せる金峰山の北西麓の斜面を横切る車道付近や、北に位地する標高 685m の熊ノ岳南斜面の車道付近に、6ヶ所ほどの観察地点を設けた（詳しい場所は保護のため本稿では示さなかった）。観察には、双眼鏡（8～10 倍）や望遠鏡（20

～35 倍）・望遠レンズ（400～500mm）を装着したデジタルカメラを用いた。調査期間は 2009 年 5 月 22 日から 8 月 18 日までの延べ 13 日間であった。調査地点には、1～3 人を配置し、観察時間は 9 時から 15 時の間として、繁殖つがいの行動や非繁殖個体の行動を観察した。ハチクマの飛行を観察した時には、必要に応じて各個体の写真を撮影して個体識別に努めた。また、ハチクマが営巣林に入った際には、巣の中の様子や巣の周囲の様子、ならびに繁殖つがいの様子や雛の様子を観察し写真を撮影した。更に、雛が成長して営巣林の上空を飛び回るようになると、その様子も写真に撮り記録した。

金峰山の北西斜面から営巣林とその周囲を中心に観察を行ったが、例年と変わらない繁殖行動が見られていた。餌運びが頻繁に見られるようになった 7 月 19 日に営巣林を踏査し、営巣地の確認を行った。営巣木は胸高直径 35cm・樹高 16m ほどのタブノキ *Machilus thunbergii* Siebold et Zucc. で、巣は 12m ほどの高さの幹近くにあった。巣内には 20 日齢ほどの雛が 1 羽確認できた。

8 月 2 日に、再び営巣林に入り雛の写真

2011 年 3 月 2 日 受理

キーワード：ハチクマ, *Pernis apivorus*, 熊本県, 繁殖



図 1. 20 日齢ほどの雛 (左の目が開かない)



図 2. 20 日齢ほどの雛 (右の目は正常)

を撮影したものについて、拡大して詳しく調べたところ、雛の左目の上部が陥没している様に見受けられた (図 1, 2)。しかし、既に黒い風切羽が伸び始めていたことから、このまま生育がうまくいくのではないかと考え、巣立ちまで見守った。

その後、雛は順調に生育して巣立ちを迎え、8月16日には営巣林の上空を高く飛び回る様子が確認された。

2009年の繁殖において雛の左目の異常に関する原因は分からないが、目の上の陥没した状態からは孵化の時点で何らかの外圧を受けたか先天的な異常ではないかと思

われた。

謝辞

上田恵介氏と三上かつら氏には発表に関するご指導をいただいた。英訳は井上裕加里氏にお願いした。この場を借りて厚くお礼を申し上げたい。

引用文献

- 井上賢三郎・皆吉悦夫・西照信・船方義輝・工藤栄介・本田和彦. 2006. 熊本県におけるハチクマの生息状況. *Strix*.24: 153-159.
- 環境省. 2006. 環境省報道発表資料 鳥類, 爬虫類, 両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて. 環境省, 東京.

An Eurasian Honey Buzzard chick with an eye deformity fledged at Mt.Kimpo, Kumamoto, southern Japan

Kenzaburo Inoue¹, Hisayoshi, Shiraishi² & Tomohiro Yatsugi³

1. 11-4 Shigetomi, Ezu, Kumamoto, Kumamoto 862-0947 Japan
2. 2-1-30 Chikami, Kumamoto, Kumamoto 861-4101 Japan
3. 1-33-25 Obiyama, Kumamoto, Kumamoto 862-0924 Japan

In 2009, we found an about twenty-day-old nestling of the Eurasian Honey Buzzard *Pernis apivorus* with a deformed left eye at Mt.Kimpo in Kumamoto, southern Japan. However, the chick fledged successfully in mid-August.